茨城県警察

県警ＨＰ

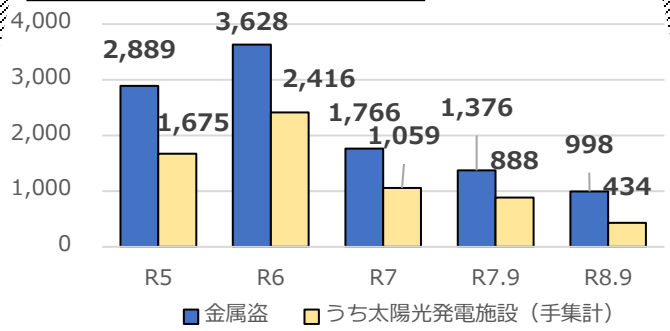
# 金属窃盗特化型 Metal News メタルニュース

令和８年 第１０号

防犯アプリ

## 金属類を対象とした窃盗事件の発生状況

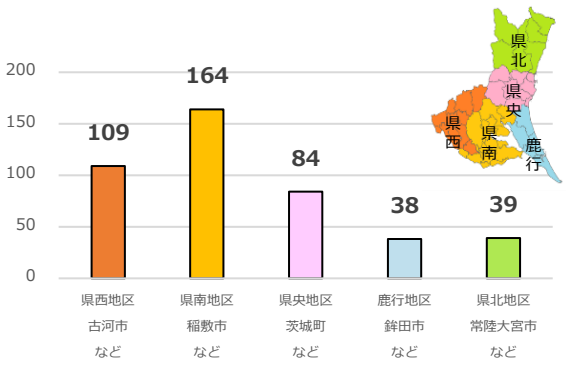
### １　金属盗の発生件数（暫定値）




**茨城県は、金属盗の発生件数が 全国２位**
**発生件数は、昨年同時期 約２７%減**
**太陽光発電施設での被害が 約４３%**

## 太陽光発電施設関係の発生状況

### ２　令和８年９月末の地域別の発生件数（暫定値）




**県南地区で約４割**
**小規模太陽光発電施設での発生が多い**

## 金属盗等の現状と対策

### 倉庫から多量の銅線盗難被害発生！

茨城県内で**倉庫から大量の銅線ケーブルが盗まれる被害**が発生しています。

倉庫での銅線ケーブルの盗難は、**ドラムケーブルごと持ち去られる**ほか、**ケーブルを切断し、短くして運び出される**ケースがあります。犯人はケーブルを切断するためクリッパーや番線カッターを持って盗みに来るので、出入口に設置された簡単な造りの南京錠は破壊される可能性があります。焼入れ鋼など切断が難しい素材でつくられた錠や、振動や衝撃が加わると警報が鳴るアラーム付南京錠に付け替えるなどの対策をしましょう。

窓のある倉庫の場合は、防犯フィルムや補助錠、面格子を取り付け窓からの侵入も対策しましょう。



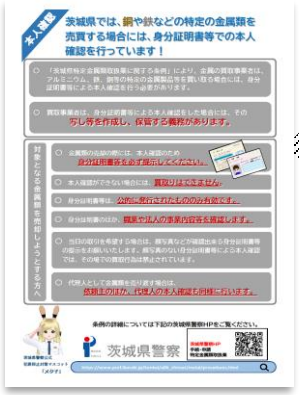



切断した銅線ケーブルはワンボックスカーに積んで運んでいる可能性があります。

### 金属盗対策、推進中！

金属類を盗む犯人の検挙はもちろん、**盗品を買い受ける者（法人）も検挙**しています。

盗品であることを知りながらCVTケーブルなど６本（時価合計約300万円相当）を買い受け、犯罪収益等を収受した金属類の買取等に従事する役員の男を令和8年10月15日に逮捕しました。






### 太陽光発電施設被害抑止対策

**銅線ケーブルがケーブル管内で固定されていたので、犯人が断念した事例があります。**

- フェンスセンサーやワイヤーセンサーの導入（異常時に通知を行うもの）
- 機械警備の導入（ケーブル切断などの異常を感知し、通知を行うもの）
- 警報装置の設置（音や光で犯人を威嚇し、周囲に異常を知らせるもの）
- 引込柱や集電箱へのフェンスやカバーの設置（ケーブル切断対策）
- ケーブルが引き抜かれないための対策（埋没・ケーブル管内の固定など）
- 防犯カメラ（AI・警報機能付き）などでの夜間監視体制の強化
- アルミケーブルの導入
- センサーライトなどの照明機器の設置

